

## 議事要旨

会議名称	第4回 杉並区荻窪駅周辺総合交通戦略連絡協議会
日時	平成30年4月24日（火）15：00～17：00
場所	杉並区役所 中棟5階 第3・4委員会室
出席者	<p><b>【構成員】</b></p> <p>■学識経験者 大沢氏、高見澤氏、関口氏</p> <p>■交通事業者 東日本旅客鉄道株式会社、東京地下鉄株式会社、関東バス株式会社、西武バス株式会社、一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会（代理出席）、公益財団法人東京タクシーセンター、一般社団法人東京都個人タクシー協会</p> <p>■関係行政機関 警視庁交通部交通規制課都市交通管理室長、警視庁荻窪警察署交通課長、東京都都市整備局都市基盤部交通企画課長（代理出席）、東京都第三建設事務所管理課長（代理出席）、東京都第三建設事務所補修課長</p> <p>■杉並区 区民生活部副参事（荻窪地域担当）、産業振興センター次長、保健福祉部管理課長、都市整備部長、まちづくり担当部長、土木担当部長、都市整備部管理課長、都市企画担当課長（交通施策担当課長兼務）、都市整備部副参事（荻窪地区まちづくり担当）、市街地整備課長、拠点整備担当課長、土木管理課長、土木計画課長、みどり施策担当課長、杉並土木事務所長</p> <p><b>【事務局】</b> 杉並区都市整備部市街地整備課拠点整備担当</p>
配布資料	<p>資料1 杉並区荻窪駅周辺総合交通戦略連絡協議会委員名簿</p> <p>資料2 議事要旨（第1～3回 杉並区荻窪駅周辺総合交通戦略連絡協議会）</p> <p>資料3 これまでのまとめ</p> <p>資料4 全体スケジュール</p> <p>資料5 施策パッケージ（案）〈その1〉</p> <p>資料6 評価指標（たたき台）</p>
会議次第	<p>1. 開会</p> <p>2. 議事</p> <p>（1）検討経過と今後のスケジュール</p> <p>（2）これまでのまとめ（策定目的・目標年次・位置付け、荻窪駅周辺の特徴、現状と課題、将来交通環境、戦略目標）</p> <p>（3）施策パッケージ（案）</p> <p>（4）評価指標（たたき台）</p> <p>（5）情報交換・意見交換</p> <p>（6）その他</p> <p>3. 閉会</p>

## <議事概要>

### (1) 検討経過と今後のスケジュール

事務局より、検討経過と今後のスケジュールについて説明後、意見交換を行った。

#### 【構成員からの意見】

- ・今年度実施する現況調査の内容について、事前に構成員にお知らせし、不足等がないかを確認いただくようにしてもらいたい。

### (2) これまでのまとめ（策定目的・目標年次・位置付け、荻窪駅周辺の特徴、現状と課題、将来交通環境、戦略目標）

事務局より、これまでのまとめ（策定目的・目標年次・位置付け、荻窪駅周辺の特徴、現状と課題、将来交通環境、戦略目標）について説明した。構成員からの意見は特になかった。

### (3) 施策パッケージ（案）

事務局より、施策パッケージ（案）<その1>について説明後、意見交換を行った。

#### 【構成員からの主な意見】

- ・まちの回遊性向上について、商店街との協力だけでなく、地域住民が、住宅都市としての観光まちづくりに前向きな姿勢になってくれるとよい。また、地域の方々が来街者に大田黒公園などの場所を尋ねられた際に、気持ちよく案内をしていただけるようにするなど、回遊性を向上する施策として、地域住民のご理解を得るための工夫も必要である。
- ・小さな空き店舗等を活用して、来街者の待ち合わせ場所としても利用できる、「荻窪案内所」を設置してはどうか。
- ・観光バス駐車場については、整備される方が望ましいが、スペース確保の課題等があるため、長期的な取組として掲げるならばよいが、短期的に実現しようとする課題が多いのではないかと。
- ・観光バス駐車場については、マイクロバスでの訪問対応や乗降場所の確保などが重要ではないかと。3つの庭園の全てでの対応は困難であることも考えられるため、観光バス駐車場の必要性や実現性を踏まえ、優先度の精査が必要である。
- ・荻窪駅における定期外利用人員を把握するなどし、区外からの荻窪駅の利用実態を分析すべき。
- ・荻窪駅周辺には、荻外荘などの地域資源の他にも、商業やオフィス、公会堂などの、地域外からも訪れる拠点性を有する場所であるということに対して、裏付けとなるデータに基づいた施策展開が示されるとよい。
- ・自転車について何が問題であるのかを明確にするべき。駅周辺での放置自転車数が減少したとの報告があったが、自転車放置禁止区域外では増えているなどの問題が出ているのであれば、その内容を提示すべき。
- ・無電柱化については、来街者の回遊ルートとなる道路を優先的に整備したり、インターロッ

- キングブロック等によるカラー舗装やポケットパークを整備したりするなど、「ぐるっとおでかけまち歩きプログラム」などのにぎわいを形成する施策との整合性を図るべき。
- ・荻窪駅周辺総合交通戦略は、昼間人口と夜間人口との2つの視点からの検討が求められることが特徴である。各施策について、誰を対象としたものであるかを意識した精査が必要である。
  - ・荻窪駅周辺総合交通戦略が、地域住民に対して、どのような意味がある施策であるかを意識して整理する必要がある。荻窪駅周辺総合交通戦略によって、地域の暮らしがどのように変わるかを意識しておく必要がある。
  - ・来街者を増やす施策を検討することに加え、現在の居住者が次世代も荻窪に住み続けるためにはどうあるべきかという施策の検討も必要である。
  - ・自転車駐輪場については、来街者・地域住民の双方の視点から、自転車駐輪場をどうすべきかを整理した方がよい。シェアサイクルは、来街者向けであると考えられるが、利用対象の想定を踏まえた整理が必要である。
  - ・「まちへ<sup>いざな</sup>誘うにぎわい拠点の整備」で、「北口駅前広場について、駅前大規模商業施設の機能更新や周辺街区での共同建替え等の機会を捉えた」との記載があるが、待っているだけでは機会が訪れるとは考えにくい。施設の再整備を行う民間事業者に対して、規制の緩和や補助の適用などのインセンティブを含めて、区より積極的に提案をしていく必要がある。
  - ・駅周辺のまちづくりと合わせた基盤整備をするのであれば、区としての方針を示したうえで、民間事業者がその方針に協力する場合にはインセンティブを与えるような仕組みにしていく必要がある。
  - ・駅周辺での基盤整備については、連絡協議会の分科会を設置して「検討」するとの記載があるが、このようなプロジェクトを実現化するために、どのような「検討」が必要であるかを考えてほしい。
  - ・今回提示された施策のうち、「ぐるっとおでかけまち歩きプログラム」の施策は、重点施策に位置付けられているが、その他においては、重点施策に位置付けられた施策が1つもないプログラムが見受けられる。重点施策の位置付けや表現について再精査が必要ではないか。
  - ・交通戦略に記載される施策や個別事業について、例えば交通戦略策定後1年に一度集まり、進捗状況について確認できるようにすることを考えることも必要である。施策の実施により、まちが変化しているということを示していくことが重要である。
  - ・都市空間の形成には、道路だけでなく、宅地等との一体的な取組が必要である。荻窪駅周辺総合交通戦略が行政主体による取組だけと捉えられないように、とりまとめにあたっては留意すべき。
  - ・各施策の実施主体について、「杉並区」との記載があるが、所管する部署名まで明記した方が、対外的には分かりやすいと思われるので検討してほしい。

#### **(4) 評価指標（たたき台）**

事務局より、評価指標（たたき台）について説明後、意見交換を行った。

##### **【構成員からの主な意見】**

- ・評価指標は、施策パッケージの内容にも関係することであるが、資料4に示される「全体スケジュール」には、評価指標に関する内容が示されていない。どのように議論すべきか、位置づけを確認したい。
- ・評価指標については、施策パッケージの内容にもよるため、その内容が出揃った時点において事務局で案を作成し、妥当性について改めて意見交換するのがよい。

#### **(5) 情報交換・意見交換**

各構成員より、荻窪駅周辺に関する取組や交通戦略に関連する取組について、情報提供等を行った。

#### **(6) その他**

今回の会議の内容に関するご意見は、5月17日（木）までに電話・メール等にて事務局宛に連絡をいただく。

次回（第5回）は、平成30年8月6日（月）15時より開催予定である。場所については、決まり次第改めてご連絡する。

以上